

科目名： <b>経済学</b>		科目コード	FB71
科目主査： <b>由川 稔</b>		単位	4
担当講師： <b>由川 稔</b>		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性： <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>本科目では、いくつかある経済学の分野の中で、スタンダードなものを学んでいきます。いわゆる、ミクロ経済学・マクロ経済学と言われているものです。標準的な個人あるいは家計および企業は、与えられた条件の下で、どのように合理的な消費や選択をするものなのか、あるいはしていけばよいのか、という消費行動と企業活動の理論がミクロ経済学であり、広く大きく一国全体として、生産と消費は国を挟んでどのようにになっているのか、政府の経済政策はどうなっているのか、これらを見ていくのがマクロ経済学です。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら質問できるように準備してください。新聞などのメディアを注視し、経済の動向を肌で捉えるようにしてください。		
テキスト	『入門経済学』井堀 利宏, 新世社, 2016年		
この科目の到達目標	<p>①経済学の基礎知識を基に経済現象の相互関連や因果関係について説明できる。</p> <p>②経済のグローバル化と今後のわが国の経済政策について考察できる。</p>		
成績評価の方法	最終試験に加え、課題の提出など、授業に取り組む姿勢を評価の対象とします。		
事後学習	<p>・積極的に新聞やニュースなどの経済関連記事に接するとともに、様々な異なる解釈や見解にも触れるように心がけてください。</p> <p>・テキストの各章末の問題を解くことで知識の定着をはかりましょう。</p>		
事後学習の参考文献	<p>『マンキュー入門経済学』N.グレゴリー・マンキュー, 東洋経済新報社, 2008年</p> <p>『目からウロコが落ちる 奇跡の経済教室【基礎知識編】』中野 剛志, KKベストセラーズ, 2019年</p>		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			